

## 第5回企画委員会 議事録

日 時：令和7年1月28日（火）15：00～17:00

場 所：3号館7階 参与員室

出席者 委員：委員4名、アドバイザー1名

### ■ひょうごフィールドパビリオン第八次認定

#### 委員等

- ・ 17件の応募プログラム認定、1件の認定保留とする。

### ■アクションプラン ver.4 の報告

#### 委員等

- ・ アクションプラン7番推進体制の整備について、「経済波及効果の分析」は重要だが、経済波及効果のみの表現だけで止まらず、違った指標を企画することも重要ではないか。
- ・ 万博後のレガシーにつなげるとなった時に、残っていく指標がSDGsを含まない経済波及効果のみになるのは違和感がある。
- ・ サステナブルに限界が見えてきたから、新しい概念としてSDGsを打ち出した。それがひょうごフィールドパビリオン。経済波及効果と並ぶ新しい指標を兵庫県として出せばいいのでは。

#### 事務局

- ・ 検証や評価をしていく中で、KPIの項目だけでは見て取れないもの・数字では計れないすごく価値があること等は見逃さないようにすることが重要と考えている。

### ■ひょうご EXPO DREAM BUILDERS（子どもの夢プロジェクト）の進捗

#### 委員等

- ・ 今、障害のある方たちへの視点として、「体験・経験の担保」という言葉がある。  
単なるユニバーサルという言葉の概念から、絵を描く、折紙を折る、自宅で・学校でやるといった参画の仕方は当たり前で、現場でどう体験できるかという「体験の担保」の視点が重要だと言われてきている。
- ・ こども達がそこに行って何を体験できるか、というコンテンツの部分も考えていただきたい。

#### 事務局

- ・ これから始まるイベントとして「ひょうごこども万博」があり、各地域で子ども達に参加頂いて、自分たちの夢を探していけるものとなっている。当該イベントの中で、障害を持つ子ども達にも参画いただけるよう働きかけていく。

#### 委員等

- ・ 参加を拒まないだけでなく、いろんな体験をしていただけるという点は重要。
- ・ 令和7年に向けて行われる様々なイベントの中で、そのような配慮・仕掛けを是非検討いただきたい。

## ■開幕1か月前イベント（3/13（木）第4回全県推進協議会）の内容

### 委員等

- ・座談会では各委員に一言ずつ話していただく。
- ・応援メッセージのようなコメントをいただければと思う。

### 委員等

- ・交流形式の具体的な方法や配席のイメージはどう考えているか。

### 事務局

- ・各分野を固めるのではなく、各テーブルにFPや企画委員、各分野の団体などをちりばめ、自然体で他業種がかかわりあえるような配席とする予定。

### 委員等

- ・ひとつの丸テーブルに何人座る想定か。

### 事務局

- ・各テーブルに最大10人、参加者が200人となると20テーブルとなる想定。

### 委員等

- ・ワークショップをしている立場からすると、この形式では交流が難しいと思う。
- ・せっかくメンバーが集まるので、もっと交流が生まれる仕掛けづくりを考えないといけない。
- ・子どもの体験なども、一部のプレーヤーとしか混ざり合っていないと思うので、この機会にもっと現場と交流を深める機会とするのが望ましい。
- ・例えば固定席にするのではなく途中席替えの時間を設けるとか、名刺交換等のアイスブレイクを設けるとか、短い時間で難しいとは思いますが、工夫を考えてはどうか。

### 委員等

- ・オンラインと併用した参加となると聞いているが、オンライン出席者の交流方法も検討してみてもどうか。
- ・いきなり交流といわれても難しい人もいるかと思うので、インターバルの工夫、アイスブレイクも用意してはどうか。
- ・目的は交流かと思うので、その工夫や仕掛けの検討をしてもらえれば。

### 事務局

- ・配席は着座での固定席ではなく、立食形式にするのがよいかと考える。
- ・固定席にするのではなく自由に移動できるようにして、周りにイスは配席しておいて、座りたい人は座れるようにもしておく。

### 委員等

- ・アイスブレイクの案として、他のワークショップでもよく実施している手法として、4つの項目（団体名、プログラム名、実現したい夢、隣の人と実現できそうな夢）を事前に参加者に書いてもらい、それをそれぞれが紹介しようということもイメージとして参考にしてもらえればと思う。